

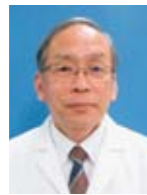
Introduction of community based 地域の医療機関のご紹介

地域の医療機関同士の連携推進を目的に、地域の医療機関をご紹介します。

独立行政法人国立病院機構

熊本再春医療センター

〒861-1196 熊本県合志市須屋2659番地
TEL.096-242-1000 FAX.096-242-2619



院長
上山 秀嗣 先生

診療科目

内科 / 脳神経内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 循環器内科 / 代謝内科 / リウマチ科 / 小児科 / 外科 / 整形外科 / リハビリテーション科 / 放射線科 / 麻酔科 / 病理診断科 / 腫瘍内科 / 感染症内科 / 呼吸器外科

病床数

513床



主な検査可能項目

MRI / CT / RI / X線撮影 / 血管造影 / マンモグラフィ / 内視鏡 / 心電図 / 筋電図 / 神経伝導 / エコー / 脳波 等

Q. 病院の紹介・診療内容を教えてください。

当院は、平成16年の独立行政法人化以降、従来の政策医療(神経筋疾患(筋ジストロフィー、神経難病)、重症心身障害、小児成育医療、リウマチ骨運動器疾患)に加えて、救急急性期医療の提供の充実も図ってきました。現在、病床数513床を有し、17科目の診療科とリウマチセンター、ALSセンター、呼吸器センターによる専門性を生かした救急急性期医療の提供に努めています。また、近年は在宅医療の支援にも力を入れております。本年4月に「熊本再春荘病院」から「熊本再春医療センター」へと病院名を変更いたしました。また、9月には新本館棟への移転を予定しております。

Q. 地域の医療機関へのメッセージをお願いします。

平素より地域医療連携をはじめ、当院の運営にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。当院は平成26年より「外来予約センター」を運営しており、紹介元病医院から外来診療予約を依頼していただくことで、患者さんの待ち時間が短縮され必要に応じて診療前に検査を行うことができます。また、「開放型病院」として、登録医の先生方に病院の施設や機能を開放し、当院の医師と共同で治療に取り組む共同指導も行っております。その他CT、MRI等画像診断の共同利用により、病診連携を推進しております。今後も地域医療への貢献に努めてまいりますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

● 済生会熊本病院へのメッセージ

平素より当院に対するご支援ご協力、誠にありがとうございます。高度急性期の治療を必要とする患者さんをいつも受け入れていただき感謝いたします。紹介患者さんを断ることなく受け入れてくださり、結果報告も迅速にご返信いただき、またスタッフの皆様も迅速かつ丁寧で、連携が図りやすい患者さんを安心して紹介することができております。今後ともご支援の程、よろしく願いいたします。

● 院長先生の休日の過ごし方♪

休日午前中はオーディオルームにこもって、コーヒーを啜りながら主にクラシック音楽を聴いています。お昼には買物に行ったり、水汲みに行ったりしています。夕食後は、1時間程妻とウォーキングをしています。

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

済生会熊本病院 連携広報紙

トピックス
インフォメーション
紹介方法のご案内
地域の医療機関の紹介

Vol.37

2019年8月発行

SAIKURU

サイクル

SAIKURUとは

地域及び連携医療機関とのつながり(サークル、サイクル)を大事に、患者さんを中心とした医療を提供していきたいという意味を込めています。

間質性肺炎治療の紹介

診断の難しいびまん性肺疾患については、精緻な画像診断を行い、気管支肺胞洗浄法、経気管支鏡下肺生検、呼吸器外科と共同した手術での肺生検を積極的にを行い、正確な疾患像を把握し適切な治療方針を選択しています。また、厚労省びまん性肺疾患調査研究班・研究協力員にも任せられ、国内外の最新知見を元に診療を行っています。

手術での生検が難しい症例の診断において、有用性が確立されている新たな生検法クライオバイプシーを導入し、診療の選択拡大に努めています。

地域の先生方から御紹介いただき、2018年度の間質性肺炎入院患者数は268例でした。

びまん性肺疾患の中でも診断治療の難しい間質性肺炎について、世界的な多施設共同研究(グローバル治験)にも参加し、新たな治療方法の開発にも関与しています。

クライオバイプシー[肺生検機器](2018年度に県下初導入)

クライオプローブの先端部が-45℃の低温となり、組織を凍結させることで、大きく組織を採取することができます。それにより肺癌の診断率向上、びまん性肺疾患の病理診断にも適しています。



COPD連携の紹介

潜在患者数が550-600万人と言われるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)は、慢性呼吸器疾患の中で最大の潜在患者数と予測され、2013年度から開始された健康日本21(第2次)にて、対策を必要とする主要生活習慣病として、がん、糖尿病、循環器疾患に加えて新たに追加された疾患です。

未だ治癒は望めない病態ながら、機能維持のための治療介入が必要であり、禁煙だけでなく、ワクチン接種、早期からの吸入療法、呼吸リハビリテーション、栄養指導が推奨されています。

また、全身病との認識がされており、原病の進行による慢性呼吸不全、急性増悪だけでなく、脳心血管疾患等、生命予後に関わる合併症も多いのが特徴です。

当科では、COPDの診断・評価と治療導入を行い、日常管理を地域のかかりつけ医の先生方をお願いする医療連携を2015年から継続して行っています。2016年10月からはCOPD外来パスの運用を開始しています。



呼吸器内科
一門部長

2016年のCOPDの外来パスの運用以降、月平均3-5名のCOPD症例の紹介をいただいています。今年度、COPD連携に外来パス運用を継続し、地域のかかりつけ医の先生方との医療連携をより一層深めさせていただきたいと思っています。何卒宜しくお願いいたします。

連携・患者紹介に関しまして、ご不明な点などございましたら地域医療連携室までご連絡ください。

TEL.096-351-8372 FAX.096-351-8505 熊本市南区近見5丁目3番1号



社会福祉法人
恩賜財団
済生会熊本病院
SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL



済生会 熊本 検索 ホームページQRコード▲

information

◎ 第2回 未来連携フォーラムのご案内

2019年10月11日(金)19:00より、ホテル日航熊本にて第2回未来連携フォーラムを開催いたします。

当会は日頃よりお世話になっている地域の先生方とのコミュニケーションの場とするため、当院所属の医師が多数出席いたします。立食パーティー形式で開催いたしますので、ご多用中恐縮ではございますが、ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。

詳細は9月初旬に郵送にてご案内いたします。



開催報告

2019年7月27日 ホテル メルパルク熊本

Multi Institute Network in Kumamoto(MINK) for CKD

今回は、当院より2名の医師が講演を行いました。

聴講されていた先生方からも熱心な質疑を多くいただき、盛会のうちに終えることができました。

『CKD合併冠動脈疾患における脂質低下療法の意義』

医療連携部長 兼 循環器内科部長 坂本先生

CKD症例において、ACSの再発防止をするための治療法について、ACSのガイドライン、治療法の歴史にも触れながら講演を行いました。



『CKD診療での紹介ポイント～済生会熊本からの新しい連携治療のあり方～』

腎臓内科医長 井上先生

CKD症例に対する予防を地域医療機関で連携して行うことについて、SDM(患者との共同意思決定)の重要性も含めた講演を行いました。



患者さんのご紹介方法について

当院では、医療機関専用紹介窓口として、地域医療連携室内に外来紹介センターを設置しております。当センターへ紹介予約をお申し込み頂きますと、患者さんが(外来予約日に)スムーズにご受診いただけますので、是非ご活用ください。

● 当院の紹介予約(FAX予約)の特徴 ●

ご紹介内容に応じて、
医師が予約指示・緊急性の
判断を行います

検査と診察をセットで予約可能です
患者さんの通院日数が少なく済むよう
予約調整いたします

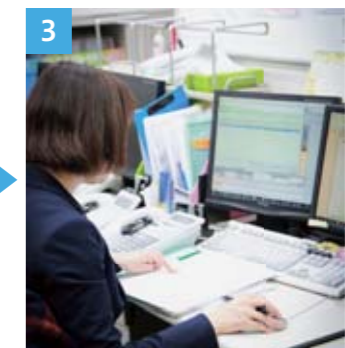
● 以下の流れで患者さんの予約調整を行っております ●



① 貴院よりFAXで届いた診療情報提供書を基に、カルテ確認・作成を行います。



② 該当診療科の医師が診療情報提供書を確認し、予約内容を指示します。この際、緊急性も判断しております。



③ 指示内容を基に予約を取得し、貴院へ予約票を送付します。

● お申し込み(ご予約)方法

まずは診療情報提供書をFAXください

FAX:096-351-8697

(外来紹介センター直通FAX)

お問い合わせ

TEL:096-351-8321

(外来紹介センター直通TEL)

予約受付時間

平日 8:30～17:00

土曜 9:00～12:00(検査のみの予約はできません)

その他、地域医療連携に関するお問い合わせ

TEL:096-351-8372 FAX:096-351-8505

